

令和 5 年度 第 2 回 小委員会のテーマ及び論点

(7 月 21 日開催)

【テーマⅠ】

D X を活用した税務手続の効率化と行政サービスの向上

< 論点 >

D X の進展の中、住民サービスの向上と効率的な事務執行に向けて、行政分野間・関係機関間等の情報連携を推進していく際、住民の便益と個人情報保護の関係をどう考えるか。

< 検討項目 >

- 情報連携と地方税法第 22 条の守秘義務について

【テーマⅡ】

固定資産税の課税の在り方(まちづくりの課題・応益課税)

< プレゼン >

「固定資産税の現代的課題」阿部雪子委員

< 論点 1 >

空き家問題に適切に対応するために、既存住宅の流通や空き家の有効活用、景観や安全上悪影響のある場合の解消等を促進する税制はどうあるべきか。

< 検討項目 >

- 既存住宅の活用促進のための税制について
京都市非居住住宅利活用促進税
- 空き家化を未然に防止する観点からの税制措置
- 空家等活用促進区域における税制措置
- 空き家に対する課税の強化
住宅用地に対する特例の解除等

< 論点 2 >

応益課税の性格をもつ財産税として、家屋に対する固定資産税の在り方はどうあるべきか。

< 検討項目 >

- 家屋課税に係る応益性や財産税の観点からの評価
- 家屋課税における応益を図る基準（価格・規模・立地等）

【テーマⅢ】

環境に配慮した税制の在り方（住宅の脱炭素化等）

< 論点 >

家庭部門における温室効果ガス排出削減に向けて、住宅の脱炭素化を促進するための税制はどうあるべきか。

< 検討項目 >

- 税制の基準として環境性能を導入することについて
- 新築住宅への税制措置（新設、廃止、見直し等）について
- 既存住宅への税制措置（新設、廃止、見直し等）について